

委員名	【報告事項】 令和2年度芦屋川カレッジ及び大学院，秋・冬の公民館講座等の実施状況について	【協議事項】 令和3年度芦屋川カレッジ及び大学院，春の公民館講座等の事業計画について
今西委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でも対策を十分に講じ，所定の目標を可能な限り達成出来た事を評価する。 ・コロナ禍でも公民館講座等の応募が予想以上にあった事は，プログラムが魅力的なためであろうと評価する。 ・適切な判断であろうが，青い鳥学級の中止は残念であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・興味深いプログラムが多々あり，企画者の苦勞がよく分かった。 ・全体として，芦屋市について学べる内容となっており，ジャンルも豊富で，講師選出もよく考えられており，適切な計画であると評価する。 ・障がい者の生涯学習の場の確保を高く評価する。
池田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ルナ・ホール事業として行なわれたシュトックハウゼン『マントラ』を拝聴したが，感染症対策が十分に講じられており，安心して鑑賞出来た。内容も大変個性的で，熱のこもった演奏に，引き込まれた。また，若い参加者たちの真剣な「聴く姿勢」にも感心した。コロナ禍の中，大変貴重な体験であり，心より感謝し，何度も思い返している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いずれのテーマも大変興味深く，自身でも受講したいテーマが複数あった。 ・公募の際に，例えば「定員〇名（本来のお部屋の定員は〇名）」といった情報提供があれば，感染症対策に敏感になりながらも受講を待ち望んでいる市民にとって，さらに安心感が与えられるのではないかと提案する。
鹿野委員	<ul style="list-style-type: none"> ・春夏の講座について，混乱の時期にも公民館活動を途切れさせる事なく，開催にこぎつけた点が意義深かった。 ・秋冬に受講回数が回復したのは，学ぶ意欲の高い市民に対し，適切な講座を実施しているからであろうと評価する。 ・定着してきた講座と，「シュトックハウゼン『マントラ』」のような新しい試み，チャレンジのバランスも良かった。 ・今後も特色のある芦屋らしい講座の開催を期待する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・興味深い講座の数々が，土曜日にも企画されており，広い世代の市民に開かれている印象を受けた。 ・困難な時期だからこそ，学びの時間が，受講者にとってかけがえのないものとなる事を申し添える。
中島委員	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統と実績を持つ芦屋川カレッジは，市民にとっての自慢となっている。 ・コロナ禍でも，カレッジ等の講座において，伝統の充実企画が実施された事に，受講生の一人としても，満足な知識習得が出来た事を評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続きコロナ禍での各講座の開講となるであろうが，受講生各位の出席意欲を喚起するような，伝統の充実企画が設計される事を要望する。
西垣委員	<ul style="list-style-type: none"> ・受講生総数253名と，規模の大きなカレッジ及び大学院について，コロナ対策で事務量や作業量が通常以上に多かったであろうが，問題無く運営出来たことに，深い敬意と感謝を示す。 ・春夏の公民館講座については，緊急事態宣言の影響であろうが，開催時期によって受講者数が異なっているため，評価が難しかった。 ・「多文化化する日本」の応募者数が，37人にとどまっている事について，「文化の歴史」と応募者が競合していないか気になった。 ・夏季集中講座は，現役世代にとって，回数・日時・日本経済と言うテーマ共に，大変良かったと評価する。 ・秋冬の公民館講座については，「実績」の意味と，実績欄の「未確定」の意味が分からなかった。（公民館からのご回答：「実績」は講座の最終的な参加者数の意味で，「未確定」は，講座が3月末まで開講しているため，最終的な参加者数が「未確定」という意味です。） 	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館音楽会をはじめ，コロナ禍でも応募者数が多いことに驚かされた。これは，感染症対策に万全を尽くした「公民館なら安心」という方々が多数いらっしゃったためと思われる。大変であろうが，引き続き，安心して講座を受けられる機会の提供をお願いする。 ・引き続き，IT，PC関係の講座が無いことが気にかかる。セキュリティ，費用等の問題は有るだろうが，世間の関心も高く，芦屋市立公民館でも，新しい発想，着眼点を生む機会として，開講される事を要望する。 ・夏季集中講座のような，普段公民館を利用しない会社員等も参加できる講座を増やすことで，公民館を利用する年齢層の幅が広まる事を期待する。
濱田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季休暇を使って参加できる企画実施をした事は，大変良かったと評価する。 ・夏季休暇を使って参加したのは何名ぐらいだったか。（公民館からのご回答：資料には参加者からの声として夏季休暇を利用したとの記載をしているが，件数については不明です。） ・抽選までしているのに，受講者数が募集人数を超えているのは，抽選に落ちたという連絡が上手くいかなかった等の事情があったのだろうか。（公民館からのご回答：資料記載の募集人数は，芦屋市新型コロナウイルス感染症対策公共施設利用ガイドラインに基づいて広報した，当初の募集人数です。そこから，実施時期によっては，当該ガイドラインの改定により，定員の規制が緩和されたために，当初募集した人数以上に受講していただけた講座があったものです。） ・音楽会で管楽器の演奏はあったか，あった場合どこに気を付けたか，学校でも悩んでおり教えて頂きたい。（公民館からのご回答：公民館音楽会では，芦屋市新型コロナウイルス感染症対策公共施設利用ガイドラインに基づき，定員制限と共に，徹底した換気を行いました。） 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き夏季集中講座は企画しているか。（公民館からのご回答：令和3年度も集中講座を企画しており，幅広い年齢層の受講生が参加しやすい環境づくりを目指しています。） ・阪神青い鳥学級の運営については，大変な面もあるだろうが，良い物を作り上げていただくよう要望する。
西本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でも，カレッジについて，コースによってはやや定員を下回っているものの，上回るコースもみられ，素晴らしい実績が積まれた事を評価する。 ・大学院においては，コロナ禍でも9割超の受講生を確保しており，見事な運営が果たされている事と評価する。 ・公民館講座等の各講座については，応募者数が多く，受講生数もほぼ定員を充足しており，その理由としては，各講座の魅力もさることながら，種々の感染防止対策を施したことが功を即していることと拝察する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・カレッジおよび大学院，さらに春の公民館講座においては，人文科学，社会科学，自然科学等の幅広い学際的な内容，自治的，歴史的，国際的な多岐にわたった内容が設置されており，いずれも非常に魅力があるもので，開催するにふさわしいものとする。